



地域の特産品を利用した地域活性化(6次産業化)

こさじ こうかし
小佐治環境保全部会（滋賀県甲賀市）

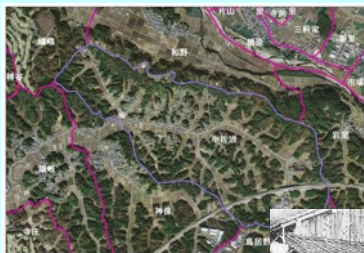
- 本地域は、滋賀県の東南部に位置し、鈴鹿山脈のふもとにある中山間地域である。
しがはぶたえもち
- 昭和の終わり頃まで最高級のもち米として皇室に献上されていた「滋賀羽二重糯」が古琵琶湖層の土壌を生かして多く作付されていたが、この品種は栽培が難しいことなどから栽培する農家が減少してきた。
- 活動組織が草刈り等の農地維持に係る活動を行うほか、耕作放棄地の有効利用として企業と連携した特産品の作付や様々な地域活動に取り組み、もちの加工・販売を行う「(有)甲賀もち工房」を中心に6次産業化を進め、集落、営農組織、学校等と密接に連携し地域の活性化が図られている。

【地区概要】

- ・取組面積 84ha（田84ha）
- ・資源量 開水路 32.0 km、農道 17.0 km
ため池 5箇所
- ・主な構成員
自治会、子供会、老人クラブ等
- ・交付金 約3百万円(H29)
〔 農地維持支払
資源向上支払(共同) 〕

活動開始前の状況や課題

- 本地域は、滋賀県の東南部に位置し、鈴鹿山脈のふもとにある中山間地域であり、少子高齢化・農家離れが深刻な状態
- 昭和の終わり頃まで最高級のもち米として皇室に献上されていた「滋賀羽二重糯」が多く作付されていたが、この品種は栽培が難しいことから栽培する農家が減少



本取組の対象地域



昭和初期のもち宣伝隊

取組内容

- 小佐治もちの知名度を上げるため「甲賀もちふる里まつり」に参画



まつりでの餅つき実演

- 活動組織が耕作放棄地の有効利用として企業と連携した特産品の作付に取り組み、営農組織がもちに使用する「よもぎ」を栽培している。また、収穫は高齢者グループに手伝ってもらうなど地域一体の取組を実施
- 小中学校への食農教育、社会見学の受入、生物観察会等の地域活動を通して、世代を超えた交流を実施

取組の効果

- 耕作放棄地を有効利用することにより、遊休農地の発生を防止するとともに、よもぎの生産量が増え、「(有)甲賀もち工房」を中心としたもち加工が進むとともに、いろいろな地域活動が行われることで、女性や老人の雇用対策や生きがいとなっている
- 「甲賀もちふる里まつり」には、地元住民約80人がスタッフとなり、子供からお年寄りまで参加し、集落のコミュニティの場となっている
- 活動組織の地域活動により、豊かな生き物を育む水田づくりや環境こだわり農業の積極的な取組がより認識され、安心安全な農産物を提供



よもぎの収穫